日本設備工業新聞

健康経営で社内の活力増進

藤原工業 安心して働ける職場を推進

藤原工業（三重県四日市市、藤原和彦社長）は、社員の健康管理を経営課題に位置付け具体的な取り組みを行う「健康経営」の実践を通じて、社内の活力増進や人材確保といった成果をあげている。日本健康会議が認定する「健康経営優良法人」にも2020年から4年連続で選定され、2023年には中小規模法人部門の上位法人「ブライト500」に認定された。今後も健康経営を推進し、社員が安心して働ける企業を目指すとともに、地域貢献も果たしていく考えだ。

同社が立地する四日市市塩浜地区は、高度経済成長期に公害を経験した歴史的背景がある。同社も事業所が主体となり社員の健康を守る健康経営に取り組む社会的責任があると痛感していたことから、健康経営の実践に着手。健康経営優良法人としての認定に加え、2022年には県から主体的に健康経営に取り組む法人である「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」に指定されるなどの評価を得てきた。

同社は30年以上にわたり毎朝ラジオ体操と安全朝礼を行って社員の健康チェックに努めてきたほか、全社員を対象にした全額会社負担のインフルエンザ予防接種や安全大会での健康に関する講座開講を実施。入社10年程度の中堅社員をメンター（指導・助言者）に指名して若手社員をサポートするなど数多くの具体策を実行してきた。人材確保についても毎年新卒を採用するなどの実績を上げており、20代の社員は12名で全社員25名の半分を占める。

健康経営に取り組んだことで、社員の意識にも変化が出てきたという。自身の健康管理だけでなく同僚の健康を気遣ったり、協力企業の社員に対して気を配る傾向も強まってきた。健康で長く働くことが会社全体の共通認識として定着してきたようだ。

同社は今後も健康経営に対する取り組みを継続・強化することで、自社に加え協力企業や地域社会に対しても健康に対する意識を促し貢献していく。さらに管工事業界全体としてのアピールも視野に入れ、長く安心して働ける仕事であることを広く社会に訴求しながら、次代の担い手確保や業界としての魅力向上に貢献していく方針だ。

同社がこれまで実施してきた健康経営の主な取り組みは次のとおり。

〈ラジオ体操と安全朝礼の実施〉30年以上に渡り職場で朝のラジオ体操と安全朝礼を実施し、社員自身の健康状態チェックを促している。ラジオ体操を自身の健康状態の変化を察知する機会としているほか、安全朝礼では社員が当番制で自身の近況や社会的な話題を1分間スピーチし、円滑な意思疎通に役立てている。藤原社長も毎朝社員の様子を観察しながら心身の状態に目配りしコミュニケーションに努めている。

〈インフルエンザ予防接種の実施〉会社が全額を負担し、全社員が毎年インフルエンザ予防接種を行っている。医師・看護師が来社して一斉に接種するなど受診しやすい環境も整えている。体調を崩す社員も少なく効果が表れている。

〈安全大会における健康についての講義〉毎年開いている安全大会で健康に関する講義を開講している。職場で簡単にできるストレッチやストレスチェック、脳トレーニングなどに関する講義を、従業員だけでなく協力企業の社員も参加して受講する。当日は座学だけでなく実技もあり、自身の心身の健康や健康習慣を日常生活に取り入れる方策も学んでいる。

〈健康診断やがん検診の実施〉法定検診とともにがん検診を含めた生活習慣病検診を、35歳以下の社員も含め全額会社負担で毎年社内で実施している。若手社員もがん検診を受診できるため健康に対する意識付けになっているほか、女性社員が対象の子宮がん・乳がん検診は若手も積極的に受診できるよう、就業時間内での検診を促している。健診日は協力企業にも告知し希望者は来社して受診できる。

〈メタボリックシンドローム予備軍への保健指導〉メタボのリスクがある社員には、保健師・管理栄養士による特定保健指導を実施している。就業時間内に専門家からアドバイスしてもらい注意と予防を促す。

〈抗体検査の実施〉昭和37～53年度生まれの男性を対象とした国の風疹クーポン配布に先立ち、全社員が麻疹、風疹、水痘、ムンプスの4種類の抗体検査を全額会社負担で実施した。地元企業として次世代への責任を果たすことが狙いで、クーポンが配布された社員は健康診断の際に再度抗体検査を受けるよう促し、確実に抗体があることを確認するよう努めている。

〈新入社員向けピロリ菌抗体検査〉新入社員に胃がん検診やピロリ菌抗体検査を実施し、胃がんリスクを下げる取り組みを行っている。ピロリ菌が発見され除菌した社員も複数いる。

〈AED（自動体外式除細動器）設置〉AEDを社内に設置し社員が救急救命講習を受講している。会社玄関にAED設置企業であることをステッカーで周知し地域住民にも告知している。万一の際は地域住民に貸し出す体制も整えている。

〈がんの4種腫瘍マーカー検査〉健診時にがんの4種腫瘍マーカー検査を実施し、値が高かった社員には精密検査を受診するよう促す。

〈健康によい飲料などの提供〉社内に設置した自動販売機で乳酸菌飲料や機能性飲料、野菜ジュースなどを販売している。

ブライト500の認定書を手にする藤原和典専務

健診時に予防接種も実施